

東日

老舗旅館がオフィスに

蒲郡市内2カ所で今秋から貸し出し開始へ 新しい仕事の仕方提案 一定賃料収入でメリットも

蒲郡市内の老舗旅館で、一部の客室をビジネス用オフィスとして貸し出す取り組みが今秋始まる。県の補助金を活用し改装。三河湾を望める立地を生かした空間に仕上げ、温泉や海辺のテラスなども活用し、新しい仕事の仕方を提案。コロナ禍で落ち込んだ旅館の収益面でも一定の賃料収入が見込めるとして、注目が集まる。

取り組みを進めるのは、西浦温泉の旬景浪漫銀波荘(蒲郡谷町)の2カ所。それぞれ県が創設した、宿泊事業者の生産性向上を目的に施設の高付加価値化改修の費用を補助する「宿泊事業者高付加

設の高付加価値化改修の費用を補助する「宿泊事業者高付加価値促進事業費補助金」を利用した。銀波荘は、海の見える5部屋(1部屋あたり23・2〜43平方メートル)を設けた。風景を見ながら会議ができるよう、大きなデスクを設置した部

屋もある。安藤壽子専務取締役は「この地域と多様性に関わる関係人口が増えれば、地域のためにもなる」と期待を込めた。



見晴らしの良さなど特徴を語る安藤専務取締役(銀波荘で)



みかんの色を基調にした部屋について説明する平野社長(平野屋で)

平野屋は、同じ広さ(同38・2平方メートル)の3部屋を作った。海のほか、特産のみかん、窓から見える山をイメージした色使いで、窓側にはベンチや小上がりの畳スペースなども設置した部屋もある。平野寛幸社長は「時間の流れがゆったりとした旅館で、新しい仕事の進め方ができるのでは」と話した。2カ所とも、既存の床の間や障子など、旅館の雰囲気を残しつつ、効率よく仕事ができる空間にした。月賃料は30万円から。温泉やサウナは無料で使用可能。入居相談はそれぞれで受け付けている。大村秀章県知事は9月30日、2カ所を訪れ、それぞれの部屋の特徴を確かめた。

東愛知

伊藤貞電気が環境保全啓発支援 蒲郡の竹島水族館へ寄付

「あいぎんSDGs私募債」活用

あま市の電気工事事業「伊藤貞電気」は、愛知銀行の「あいぎんSDGs私募債」を「あすなろ」を活用して蒲郡市竹島水

族館に6万円を寄付した。私募債発行手数料の一部を、発行企業が指定する学校や地方公共団体などへ物品を寄贈に充てたり、SDGs(持続可能な開発目標)に取り組み対象先などに寄付したりする仕組み。伊藤貞電気は、海の環境保全の啓発活動に取り組んでいる水族館を選んだ。9月27日、仲田修一取締役と愛知銀葉町支店の川添智司支店長が水族館を訪れ、小林龍二館長に目録を手渡した。小林館長は「魚が少なくなっている社会課題も



目録を持つ小林館長(中央)と竹島水族館で(提供)

あり、地元漁師との連携や魚について子どもに知ってもらおう活動をしていきたい」と話した。仲田取締役は「蒲郡はボートレジャーの関係で何度も訪れている場所でご縁があるので寄付先を選んだ」と述べた。【林大二郎】

東愛知

ふ頭でジャズなど楽しんで

海・みなど、蒲郡実行委 きょう音楽イベント

「海・みなど、蒲郡実行委員会」は、蒲郡市港町の竹島ふ頭の「みなどオアシス」がまごおりで音楽イベント「SEAS IDE LIVE 2023」を1日に開く。海の現状を伝え未来へつなげる日本財団の活動「海と日本プロジェクト」。これまで、海の大切さを学ぶ場として各種イベントに取り組みでき

た。音楽イベントは例年、ふ頭でジャズなどの音楽を楽しみながら、蒲郡の海について深く考えてほしいと企画している。出演は市観光大使でシンガーソングライターのしがせいこさん、県立蒲郡高校吹奏楽部、ジャズシンガーの奥土居美可さん、サクソスプレーヤーのユッコ・ミラーさん。入場無料。午後3時から



イベントチラシ(提供)

同8時。飲食販売店も出店する。事務局を務める市企画政策課の小田将也さんは「音楽を聴きながら蒲郡の港と海の魅力を感じて」と話した。【林大二郎】

東日

省エネ家電「買い替え」キャンペーン

来月15日から半額補助

蒲郡市

温室効果ガスの排出削減につながるよう、蒲郡市は11月15日から、エネルギーの消費を抑えた家電製品に買い替えた市民に対し、購入費の2分の1を補助するキャンペーンを始め、来年3月15日まで期間中に新品のエアコン、冷蔵庫、テレビのいずれかを市内の店舗で購入し、自宅に設置することが条件。補助額は1世帯あたり5万円を上限とする。省エネ性能の基準となる達成率はテレビが70%以上で、ほかは100%以上。それぞれ目標年度が設定されている。家電店のチラシやカタログで確認できるほか、資源エネルギー庁の「省エネ型製品情報サイト」で調べることができる。

市は200世帯分を見込み、予算1000万円を計上した。予算の残額は市のホームページで公開し、上限に達し次第、締め切る。2050年までに二酸化炭素(CO2)排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を宣言している。ゼロカーボンシティ推進室の担当者は「CO2排出量は家庭内が多い。市民の行動変容を促したい」と話す。問い合わせは、同推進室へ電話0533(57)364511へ。(多田羅有美)

「DV理解の」出前講座

蒲郡/申し込み 来月17日まで

「女性に対する暴力をなくす運動」(11月12〜25日)に合わせて、蒲郡市は11月24日午後2時から、市役所北棟集会所で「DV(ドメスティックバイオレンス)理解の出前講座」を開く。参加無料。

講師は、ウイメンズカウンセリング名古屋YWCAのフェミニニストカウンセラ増井さとみさん。配偶者や恋人などから受ける暴力について、分かりやすく説明する。

定員は先着順に30人。希望者は氏名、郵便番号、住所、電話番号、メールアドレスを記載して、市協働まちづくり課にアクセスか郵送する。市ホームページでも受け付けている。11月17日まで。問い合わせは、市協働まちづくり課へ。電話0533(66)117911へ。

東愛知

南駅前広場で社会実験

来月19日から 蒲郡市が開始 活力向上へ出店者募集

蒲郡市は、地域活性化を目的とした社会実験を蒲郡南駅前広場で11月19日に始める。出店者の参加を募集している。

市は蒲郡駅から竹島までの「東港地区」を魅力的な場所にするため、官民連携のまちづくりに取り組んでいる。昨年12月、



出店者を募集する市職員 蒲郡市役所で



「気軽に立ち寄れる場所づくりを考え、キッチンや物販、ワークショップ、アートなど展示する。12月3日まで。午前9時から午後8時。出店料無料。専用フォームQRコードに氏名、住所などを記載して31日までに申し込み。問い合わせは市都市計画課(0533・66・1114)へ。」【林大朗】

中日

東愛知

28、29日に深海魚まつり

海・みなど・蒲郡実行委が魅力PR

「海・みなど・蒲郡実行委員会」は、蒲郡市松原町の竹島ベイパークで深海魚の魅力伝えるイベント「がまこり深海魚まつり」を28、29日に開催する。

無量寺が40万円寄託

蒲郡市西浦町の無量寺が中日新聞社会事業団に40万円を寄託した。「がん封じ寺」と呼ばれる、無病息災を願う人たちが参拝する。日本対がん協会が定める「がん征圧月間」(9月)に合わせ、毎年寄託を続けている。前任職の松山孝昌さん(86)は「写真」は「人々が健康でいられるように役立ててほしい」と話した。



中日

足先まですっぽり 長〜い羽毛布団

蒲郡の企業、布団メーカーと開発



超尺ロング羽毛布団を紹介する鈴木社長一蒲郡市の蒲郡商工会議所で

寝装品を製造販売する蒲郡市三谷町の公大が、広島県福山市の布団メーカーのハシモトと連携し、体をすっぽりと包める長さ2・4尺の「超尺ロング羽毛布団」を開発した。一般的な長さ2・1尺の羽毛布団に、取り外し可能な30センチのパーツを組み合わせた。二重織りのガーゼ

援するクラウドファンディングサイト「Makeake(マクアケ)」で11月28日まで、先行販売の注文を受け付けている。期間中の割引価格として、布団とカバーのセットで5万2800円から。公大0533(68)6686(西山輝一)

東愛知

蒲郡信金

晴天の下でゴルフ楽しむ

藤下副理事長も参加

豊川南エリア2店舗合同コンペ



蒲郡信用金庫の国府支店、小坂井支店の顧客が参加する「がましん豊川南エリア2店舗合同コンペ」がこのほど、豊川市平尾町の平尾カントリーで開かれた。昨年に続くコンペで28人が出場。本部の藤下雅彦副理事長も加わって、絶好のゴルフ日和の下、十分にプレーを楽しんだ。その後、一部の人がクラブハウスの前で記念撮影した。【山田一晶】

「がまこり深海魚まつり」は、蒲郡市松原町の竹島ベイパークで開催される。今年から蒲郡実行委員会と連携して運営する。飲食物の販売やワークショップ、イベントは、市内の飲食店の協力で深海魚の魅力や元水産業者が作る「がまこり」の魅力を伝える。蒲郡の深海魚や地魚をPRする目的で続けている。今年から蒲郡実行委員会と連携して運営する。飲食物の販売やワークショップ、イベントは、市内の飲食店の協力で深海魚の魅力や元水産業者が作る「がまこり」の魅力を伝える。蒲郡の深海魚や地魚をPRする目的で続けている。

東愛知

災害時の避難所衛生維持へ

蒲郡市 ウインドソックスと協定

蒲郡市は26日、イベント用品のレンタルなどを手掛ける「ウインドソックス」(岡崎市)と、災害時のレンタル機材、資材などの提供に関する協定を結んだ。

【林大朗】

南海トラフ地震などの大規模災害時に、避難所の機材が不足し、自治体のみでの衛生環境の維持が難しくなることが想定される。ウインドソックスは、イベント用テントや照明機材を提供しているほか、ハウスクリーニング事業を展開する。市が協定締結を呼び掛けた。



締結書を持つ鈴木市長と蒲地社長(左)蒲郡市役所で

早期の機材調達実現

鈴木市長は「市民が安心できる蒲郡に近づきました」と話した。蒲地社長は「何か起きた際は何か力添えできるよう協力したい」と述べた。

東愛知

ロープとはぎれでXマス飾り

繊維のまち蒲郡 魅力伝える

形原小児童に丸五製網所の間瀬社長



蒲郡市立形原小学校の3年児童63人が25日、地元繊維ロープとはぎれを使ったガーランド作成に取り組んだ。形原町のロープ製造「丸五製網所」の間瀬有実子社長が指導した。

【林大朗】

間瀬社長は夕暮れ時の暗い通学路を明るくするために、廃材や生地を使って、クリスマスツリーを作るなどしている。ツリーを蒲郡商工会議所で開催の繊維製品総合展示会「テックスビジョン2023(ミカワ)」に展示する間瀬社長(左)蒲郡市立形原小学校で

児童は間瀬社長からロープの特徴や種類を説明を受けた後、社員やボランティア

東日

につぼん丸 来月15日寄港 蒲郡

大型クルーズ船「2472」が11月15日、蒲郡市浜町の「につぼん丸」(2万蒲郡ふ頭に寄港する。今年7月以

来、2度目の入港となる。午後5時の出港時には、見送り行事として手筒火花が披露される。岸壁で見学できる。

につぼん丸は11月11日に横浜港を出発。5泊6日で大分県中津市、香川県の豊川稲荷などへの観光ツアーが予定されている。

中日

蒲郡のロープで飾り作り 形原小児童ら 地元企業に習う



布を結び付けたロープ飾りを作る児童ら蒲郡市形原小で

ンティアに教えてもらいながらロープとはぎれを組み合わせて、ガーランドを作った。今後はガーランドをつなげ、ツリーに仕上げる。

間瀬社長は「ロープは生活の中で、あまり見ない。今回の取り組みを通して、『繊維のまち蒲郡』を実感してほしい」と話した。

蒲郡市形原町で製造の盛んな繊維ロープを使い、多彩な布と組み合わせ飾り(ガーランド)を作る授業が25日、形原小であり、3年生64人が体験した。地場産業への理解を深める学習の一環で、地元のロープ製造会社「丸五製網所」の間瀬有実子社長(左)が作り方を教えた。市内の工場で端材として生じたロープや布を使用。児童たちは黄色や水色など好みの10枚の布を選び、1枚ずつ口

ロープに結び付けた。同社は、児童たちが作ったロープ飾りをつなぎ合わせて樹木状のオブジェ「ツリー」を作り、11月17、18両日に港町の蒲郡商工会議所で開かれる繊維産業の展示会「テックスビジョン2023(ミカワ)」で展示する予定。間瀬社長は、友達の輪のようにロープを結び合わせること、大きなツリーができる。完成を楽しみにしてください」と児童に語りかけた。(西山輝)

中日



深海魚まつりをPRする小林館長とタカアンガニ蒲郡市の竹島水族館で

蒲郡市特産の深海魚の魅力発信する「がまごおり深海魚まつり」が28、29両日、蒲郡市松原町の竹島ベイパークで開かれる。深海魚の販売や魚に関するトークライブなどがある。

蒲郡市特産の深海魚の魅力発信する「がまごおり深海魚まつり」が28、29両日、蒲郡市松原町の竹島ベイパークで開かれる。深海魚の販売や魚に関するトークライブなどがある。芝生広場に飲食や物販のブースが並び、メヒカリの唐揚げや深海バーガーなどを販売する。漁師による魚の販売会「深海魚たき売り」は両日とも午前10時半から。初日のみ実施した昨年は短時間で完売したことから、2日間に増やした。ステージで28日午後1時から竹島水族館の小林館長と、「さかなのおにいさん」として活動するタレントかわちゃんによるトークライブがある。

29日午後1時からは煮魚の簡単な作り方を料理人が教える体験会があり、会場では先着20組の親子の参加を募る。小林館長は「楽しみながら、蒲郡特産の深海魚について知ってほしい」と話す。

水族館や市、飲食店などで行う実行委の主催で、日本財団の「海と日本プロジェクト」の一環。両日も午前10時～午後4時。入場無料。

東日

蒲郡市

災害時の協定締結

ウツクス社と資機材レンタルなど



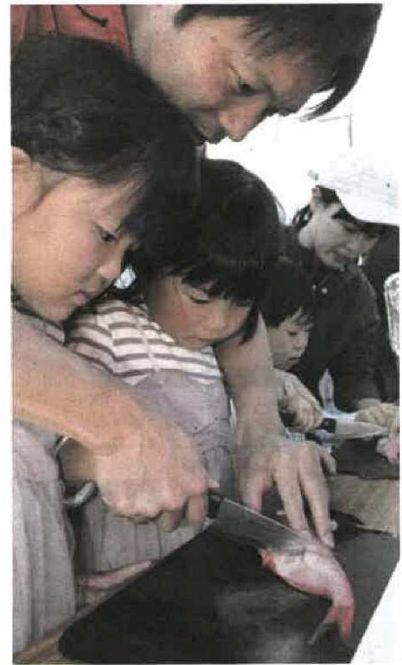
協定書を持つ鈴木市長と蒲池代表(左)
＝蒲郡市役所で(提供)

蒲郡市は26日、災害時の避難所開設などに、ウツクス社(岡崎市)のレンタル資機材を使わせてもらう協定を結んだ。同社が県内で同様の協定を締結するのは、西尾市に次いで2例目となる。同社はダスキンのフランチャイズチェーン加盟店。災害発生時には、レンタル事業で所有しているテナ

トヤ機などの備品や、清掃サービスを提供する。市役所で締結式があり、鈴木寿明市長と蒲池恵美子代表が協定書を交わした。鈴木市長は「協定は心強い。ご縁を大切に、安心安全な市にまた一歩近づけるようにしたい」と感謝した。

東日

キンメダイに飾り包丁を入れる親子ら(蒲郡市・竹島ベイパークで)



煮魚体験イベント人気

がまごおり深海魚まつりにぎわう

「がまごおり深海魚まつり」は28、29両日、蒲郡市の竹島ベイパークで開かれた。日本財団「海と日本プロジェクト」の一環で、海・みなど・蒲郡

実行委員会の主催。29日は、煮魚を作って食べる体験イベントが人気を集めた。親子20組が参加。子どもたちは、用意されたキンメダイに

東日

くらふとフェア蒲郡盛況

全国から170組の作家参加 体験講座なども人気

「ハロウィンとフェア」蒲郡(東海日日新聞社後援)は28、29両日、蒲郡市の竹島ふ頭一帯で開かれた。全国から170組の作家や職人が参加。陶磁器や木工、皮革製品、アクセサリー、家具などのほか、今年にはパンやスイーツなど食べ物の販売もあった。地元小中生による展示や体験講座も人気を集めた。市立西浦小は、端切れ200本を結ん



今年は蜂蜜も並んだ「くらふとフェア」会場(蒲郡市港町で)

だ飾り「ガーランド」を展示した。形原中は特産のロープを飾り結びにしたお守りや、ミサンガを販売。ワークショップにも大勢の人が詰めかけた。

今年初出店の「満蜂ファーム」(静岡県湖西市)は、三ヶ日町のミカンの花から採れた蜜や、ナッツの蜂蜜漬け、ジャムなどを販売した。オーナーで養蜂家の

満井浩気さんは「自然豊かな湖西連峰の蜂蜜を味わってほしい」と話した。実行委員会によると、両日で約1万6000人が来場した。



西浦小が展示したガーランド(同)

東愛知



▽蒲郡市出身で洋菓子職人の壁谷玲子さんが開いた「マドレーヌ」のイベントを取材した。

この洋菓子が誕生した歴史や発祥地のフランスコメルシー市の概要など、初めて知ることばかりだった。

▽15世紀、コメルシー城で夕食会の準備中、城の菓子職人と料理人と口論となり、城主が困っていた。そこでメイドのマドレーヌさんが作ったのが始まりとされる。

▽コメルシーも魅力的な地域だと知ることもできた。実際に街並みや城を見てみたいと思っただ。取材を通して地元の菓子の歴史も調べてみよう。【林大朗】

東日

海中で発見遺体

87歳男性と判明 蒲郡署が発表

死因は溺死か

蒲郡市西浦町の倉舞港近くの海中で、28日に見つかった男性の遺体について蒲郡署は同日、身元が同市無職男性(87)であると発表した。事件性は低いとみられる。

署によると男性は現場付近に住み、岸壁近くの海中に沈んでいた。死因は溺死とみられる。

東愛知

海中の遺体は蒲郡市内、87歳男性

身元が分かる

蒲郡市西浦町倉舞港内の海中で28日午前に見つかった遺体について、蒲郡署は同日夜、市内の男性(87)だったと発表した。

(87)と判明したと発表された。目立った外傷はなく、事件性は低いとみている。

中日

男性の身元判明

蒲郡市西浦町の倉舞港内の海中で28日に見つかった男性の遺体について、蒲郡署は同日、市内の無職男性

東日

災害時ドローンで情報収集 被害状況把握図る

蒲郡市が全空警と協定締結

災害時の情報収集にドローンを活用しようと、蒲郡市は22日、兵庫県神戸市の警備会社「全空警」と災害協定を結んだ。同社から操縦士を派遣してもらい、上空から被害状況を把握することによって、速やかな救助や被災者支援につなげる。(多田羅有美)

具体的な活用法は、市と同社が協議して決めるが、例えば河川

からドローンで撮影して中継したり、大規模な救助や被災者支援につなげる。蒲郡市役所であった締結式で、鈴木市長と名倉真悟代表が協定書

表が協定書を交わした。鈴木市長は「6月の豪雨で、隣の市では被害把握にドローンを活用したと聞く。協定により、安心安全な蒲郡に近づいた」と感謝した。

名倉代表は「河川の氾濫など自然災害が増え、現場でドローンが活躍している。蒲郡でドローンの活用をリードしたい」と意気込んだ。名倉代表によると、昨年の法改正により、ドローンによる巡回警備が可能になった。同社は今年設立され、東名阪などにキャンパスを置くドローン大学の修了生らが所属している。



協定書を交わす(左から)鈴木市長と名倉代表＝蒲郡市役所で

東日 蒲郡市役所で「グリーンナテンプ」

ラグーナテンプで来月9日と10日

蒲郡市海陽町のラグーナテンプ・フェスティバルが、12月9、10日午前10時から、海辺のクリスマスフェスタが開かれる。液体に力を加えると固くなる「シリコン」に関するワークショップやイルミネーションの体験ができる。

現象や、ロップワイヤ体験など、クリスマスフェスタは各日午後2時から開催する。乗船するイルミネーションの「なりきり体験コーナー」では、マリナーのヨットに電飾を施したイルミネーションを乗しむことができる。日本財団「海と日本プロジェクト」の一環で、海・みなど、蒲郡実行委員会が主催する。

東愛知



各路線が展示されたサボ＝蒲郡市博物館で

懐かしの駅名を探して

蒲郡市博物館「列車のおもいで」行き先表示板サボなど展示

蒲郡市博物館は、企画展「列車のおもいで」で、鉄道グッズにみる東海の鉄道を展示している。12月24日まで。



懐かしの二俣線の駅名板

蒲郡市内をはじめ、県内各地で走るJRや名鉄などで使われたグッズを通して、多くの人に鉄道の魅力を伝える。市内在住の鉄道グッズコレクターの協力で、東海地方を中心とした鉄道関連資料486点を用意した。

懐かしの二俣線の駅名板を展示した。目玉は当時の各路線の列車に使われた行き先表示板「サボ」。改名や廃線ですでにない駅名、豊橋駅を発着駅としていた「二俣線」の駅名が記載されたサボを見ることが出来る。博物館の松田繁さんは「鉄道が好きならやそうでない人も楽しめる企画となっております。一度訪れて懐かしの駅名を探してみてください」と話した。入場無料。開館時間は午前10時～午後5時まで。毎週月曜日と第3火曜日が休館。

【林大朗】

東愛知

9期介護計画の素案決まる

東三河広域連合 パブリックコメント募集

市民サービス反映

地域の8市町村でつくる東三河広域連合(連合長・浅井由豊橋市長)は、来年度から始まる3カ年計画「第9期介護保険事業計画」の素案をまとめ、パブリックコメントで地域住民の意見を募っている。

9期計画素案でも、基本理念「いつまでも健康やどサービス基盤構築」を引続き対策分野として掲げた。これを踏まえ、自立支援策では新たに「栄養改善に特化した配食サービス」を盛り込む。ケアプランに基づき訪問型と通所型の両サービスで一体的に提供される。22日必着。問い合わせは、東三河広域連合介護保険課(0532・26・8459)へ。

総務大臣表彰を受賞

蒲郡市形原町の長年地域貢献活動に尽力 天野忠則さん

自治会の代表を長年務め、地域の活動に尽力した蒲郡市形原町の天野忠則さん(78)が、本年度の「自治会等地域による団体功労者総務大臣表彰」を受けた。5日、市役所で鈴木寿明市長に受賞の喜びを伝えた。

天野さんは2012年から、地域住民の自治組織、形原1区の代表を務めるほか、翌13年には地元有志を集めて「お助け隊」を結成。公園や道路の清掃、高齢者の日常生活の支援活動などを繰り返し行っている。

発足し、ともに地域の高齢者宅で電球を交換したり、粗大ごみの搬出を手伝ったり、ちょっとした困りごとを解決にひと役を買っている。

退職した男性ら十数人で始めたお助け隊は現在38人。女性中心の「まめだ会も

鈴木市長は「お年寄りが住みやすいまちづくりに貢献してくれている。天野さんを模範として、取り組みが市に広がってほしい」と期待を寄せた。(多田羅有美)



東愛知

9、10日にXマスフェスタ

海・みたと・蒲郡実行委 輝く遊覧船クルーズなど多彩



「海・みたと・蒲郡実行委員会」は、「海辺のクリスマスフェスタ」を蒲郡市海陽町の複合施設「フェスティバルマーケット」で9、10日に開催する。

PRする実行委員会関係者「蒲郡市役所で

中日
徳島ニュース

総務大臣表彰 蒲郡市形原町の形原1区総代、天野忠則さん(78)が

本年度の「自治会等地域による団体功労者総務大臣表彰」を受け、5日に市役所で鈴木寿明市長に報告した。天野さんは2012年から総代を務め、13年から住民有志でつくる「お助け隊」の会長も兼務。お年寄りの支援や形原漁港大橋周辺の草刈り、通学路を花のプランターで彩る美化活動に励んできた。「住民に感謝されると励みになる。ボランティア活動は心と体の健康の源」と話した。



東愛知

楽しく親しみ持って学ぼう

メタバースなど活用した実証実験

生命の海科学館 舞台に蒲郡市

蒲郡市は、生命の海科学館を舞台に、仮想空間「メタバース」や次世代インターネット「Web3」技術を活用した実証実験を始めた。「楽しく、親しみを持って学ぶ(Fan to Learn)」の実現を目指す。

【山田二晶】

「市学習者デジタルコミュニティ推進協議会」による分散型社会構築事業。今年度の「県スマートシティモデル事業」に選定されている。ブロックチェーン技術を使って複製を不可能にする「NFT(非代替性トークン)」などにより、科学館のコンテンツにデジタル上で触れる機会を増やす。そこから興味や関心を持つ人たちがコミュニティをつくり、学びを深める。

具体的には、生命の海科学館監修のメタバースで、古代生物などを学ぶ体験をする。インカクジラやカンブリア紀の化石などにいつでもどこでも触れられる。来年3月22日まで、メタバース上で、科学館学芸員による古代生物などに関するワークショップを開催する。化石の紹介やクイズなどがある。10日午後2時30分、17日午前10時半、11時半。



蒲郡市のメタバースの世界。クジラが空に浮かんでいる

生命の海科学館監修のメタバース



仮想空間に浮かぶ竹島

東日

最優秀賞に鈴木万利明さん(北部小6年)

蒲郡マリンC 国際平和ポスターコンクール

蒲郡マリンライオンズクラブ(LC)、市川貞也会長が国際平和をテーマに蒲郡市の小学生から募ったポスターコンテストで、最優秀賞に市立蒲郡北部小6年の鈴木万利明(まりあ)さん(10)が輝いた。5日、同校で表彰式があり、鈴木さんら入賞者10人に賞状が手渡された。

子どもたちに平和について考えてもらおうとライオンズ国際協会が主催し、36回を迎えた。北部小では例年、6年生のほぼ全員が出品していることから、マリ

がそれぞれの夢をかなえられるように、という思いを込めた。戦争をやめて幸せな世界になってほしい」と話した。

ほか入賞者は次の

点、優秀2点、佳作7点を選んだ。鈴木さんは四つ切り画用紙を横に使い、世界中の人が人種や障害の有無にかかわらず、希望の職業に就く姿を描いた。肌の色の違う人たちが指でかたどったハート型の絵もあ



入賞した皆さん(蒲郡市立蒲郡北部小学校で)

優秀「廣中葵」、朝倉花乃、佳作「宇田唯千花、内山花歩、岡田莉衣、小田陽菜莉、三浦菜、牧野沙耶、三浦すみれ」

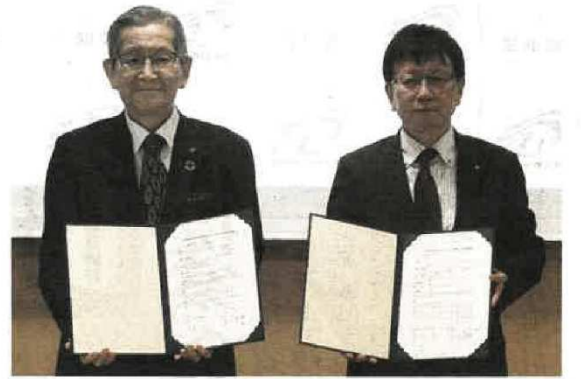
東日 企業や高校と連携・協力

東三河県庁と豊橋技術科学大が協定

東三河県庁と豊橋技術科学大は14日、同大学が地域の企業や高校と連携、協力していくことなどを定めた協定を結んだ。江口幸雄副知事と寺嶋一彦学長が14日、同大学内で協定書を調印した。両者はともに東三河ビジョン協議会に参加し、「東三河振興ビジョン2030」(2021年)の策定で協力。県の開く会議に教員が出席したり、県の事業に学生が参加したりするなど、これまでも連携、協力を進めてきた。

新たに協定を締結することで、東三河地域にある企業への就職や県庁でのインターンシップなどで両者が協力。また、地元の高校生が理系に興味を深めるための講座や、生徒が最先端の科学技術に触れる機会を大学が提供する。

江口副知事は「技術系が多い地域の企業と大学の橋渡しとなり、タッグを組んで地域の課題解決に取り組みたい」と話し、寺嶋学長は「大学は産業界や就職で地域に貢献しないといけない、そのためには自治体との連携をしっかりとやる」と協定の意義を語った。(石川正司)



協定に調印した寺嶋学長と江口副知事(豊橋技術科学大学で)

東日 来月 さかなクントリーショー

海・みなど・蒲郡実行委員会(小田泰久実行委員長)は来月28日、蒲郡市海陽町のラグーナテンボスラグナシアでおこなう学校・さかなクントリーショーを開催。魚類学者でタレントのさかなクンを招く日本財団の「海と日本プロジェクト」の一環。

午前11時半と午後1時半の2回開催。チケットはラグーナシア入園券が付いて中学生以上が3300円、小学生2200円、幼児(3歳以上)1400円。公式サイト(www.minimato-banatori.jp)で販売している。問い合わせは、ラグーナテンボス総合インフォメーションセンター(電話0570-097)117へ。

東愛知 23日に空中消火訓練

林野火災想定 三ツ口池で県、陸自、豊橋市 県は陸上自衛隊と豊橋市と共同で、同市石巻町の三ツ口池を舞台に23日、空中消火訓練をする。大規模林野火災時の迅速な消火対応能力の向上を図る。

県と陸自第10師団主催、豊橋市共催。参加機関は県と第10師団のほか、陸自航空学校、豊橋市、市消防本部、県警、名古屋消防航空隊、浜松市消防局と湖西、新城、豊川、蒲郡、田原の各市消防本部と近隣消防団などからの計240人。

現場指揮本部での活動訓練、ドローンを用いた上空偵察、地上消火活動はできない。【山田一晶】

空中消火活動(消防・陸上自衛隊)が内容。陸自の大型ヘリによる空中消火訓練がある。安全管理上、一般の見学はできない。【山田一晶】

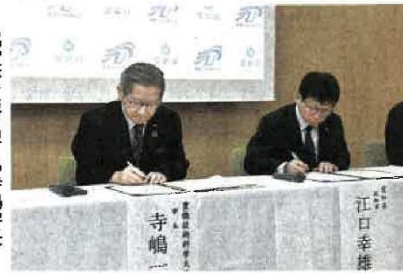
中日

豊橋技術科大と連携協定締結

東三河県庁

豊橋技術科学大(豊橋市)と東三河県庁は14日、地域発展や人材育成に向けた連携協定を結んだ。技術大と企業の交流促進や、地元の高校生が技術大の最先端技術に触れる機会づくりなどに取り組む。

これまでも県の農業事業に技術大の教員が参画するなどしてきたが、協力を初めて明文化。双方に連絡窓口を設け、連携を深める。



技術大であった協定締結式で、寺嶋一彦学長と江口幸雄副知事が協定書に署名

協定書に署名する寺嶋学長(左)と江口副知事(右)。豊橋市天伯町の豊橋技術科学大で

した。寺嶋学長は「地元とのつながりをより強固とし、東三河の振興に貢献したい」と話した。

中部経済

来月22日から経営計画作成セミナー

蒲郡会議所

【三遠】蒲郡商工大会議所は2024年1月22日から、全4回の経営計画作成セミナーを開催する。24年以降に公的補助金を受ける

ためには経営計画の策定が必要なケースがあり、その前準備的なセミナーだ。参加者を先着15人、1月15日まで募集している。

セミナーの日程は22日、26日、29日、2月5日。いずれも蒲郡市港町の同会議所で行う。講師はMORE

経営コンサルタント代表の日野眞明氏。「自社の強み」を売れる商品に「補助金の申請」などについて解説する。

参加料は4回参加分で税込み2千円。問い合わせは同会議所(電話05333・68・7171)まで。

東愛知

田原、豊川、蒲郡

3市内へ「毎一会」の旅

実行委 来月4日からスタンプラリー

田原市と豊川市、蒲郡市の3観光協会がつくる「ストロベリーロード毎一会(いちいちえ)実行委員会」は、当地のイチゴ商品を活用したスタンプラリーのイベントを来月1月4日に始める。3月31日まで。

2021年に、渥美半島観光ビューローと豊川市観光協会が連携し、地元で育てたイチゴのおいしさや魅力を多くの人に伝え、誘客と回遊、消費を促進しようと始めた。

イベントを一層盛り上げるため、蒲郡市観光協会が加わり、8月に実行委員会を立ち上げた。スマートフォンで参加登録し、3市内の生産地とイチゴを使ったスイーツ商品のある店など44カ所を訪ねてスタンプをた

めると、抽選で豪華賞品が当たる。また、期間中に豊川市の「本宮の湯」で入浴▽田原市の「渥美半島菜の花まつり」に参加▽蒲郡市のテーマパーク「ラグナシア」に入園

すると、スタンプがもらえる。集めたスタンプが10個で「伊良湖オーシャンリゾート」「ホテル竹島」「料理旅館「香龍」」のいずれかのペア宿泊券(3人)、7個で3市の特産品などの商品券5000円分(6人)、5個で3000円分、3個で2000円分の商品券(各9人)が贈られる。

渥美半島観光ビューローの会員になっている豊橋市の「ホテルアソシア

豊橋」で報道陣向けの発表会があった。各観光協会の関係者とイチゴ農家が商品などをPRした。実行委員長で蒲郡市観光協会の森隆司理事は「3市の観光スポットを巡りながら、イチゴスイーツを楽しんで」と話した。



イベントや参加店舗はホームページ上QRコードで。問い合わせは蒲

イベントをPRする3観光協会の関係者へホテルアソシア豊橋で

郡市観光協会(05333・68・2526)へ。

【林大二期】

東愛知

渚の交番 来春オープン

海の情報発信と活動拠点に

「がまやどり」は、非営利型の一般社団法人として昨年7月に発足した。蒲郡で海を感じられる体験などを通して次世代を担う子どもにも海に対する「がまやどり」は、非営利型の一般社団法人として昨年7月に発足した。蒲郡で海を感じられる体験などを通して次世代を担う子どもにも海に対する

蒲郡市海陽町のラグーナ蒲郡地区を盛り上げようと、有志でつくる「がまやどり」は、同町の商業施設「フェスティバルマーケット」隣地に「渚の交番」を来春オープンさせる。海辺のさまざまな情報発信や三河湾で活動する人の拠点とする。東海地方では初めて。【林大二朗】

がまやどり ラグーナ蒲郡地区の活性化へ



理事の小田将也さんが、日本財団の「海と日本プロジェクト」の活動の中で交番の存在を知った。「海のまち蒲郡」から三河湾の魅力を伝えながら、海で活動する人を支援する場所をつくらうと計画した。

た。メンバーは地区を盛り上げたいという熱い思いを持ち、マリネリジャー一事業に関わる人ら。渚の交番は日本財団の助成事業。全国15カ所にある。海辺のさまざまな活動に関わる人や団体に限らず、地域のいろいろな団体の活動拠点として整備し、楽しい海づくりに取り組んでいる。

財団の助成金を活用し、400平方メートルの敷地に鉄骨平屋造りの建物とアウトドア体験エリアを整備する。店内は、ヨットやクルーズ体験などの受け付け、ワークショップができるスペースを設ける。カフェが出店し、三河湾



来春オープンする「渚の交番」のイメージ図(提供)

ア用品メーカーと連携し、海を見ながらバーベキューやキャンプができるイベントも企画する。今後はフェスティバルマーケットやラグナシア、ラグナマリナとも協力し、一帯を盛り上げる。

代表の原田朋法さんは「身近に海があることを知ってもらえれば、交番を中心に、にぎわいの創出につなげたい」と話した。

東日

東三河都市計画道路・大塚金野線

豊川市が計画変更承認

豊川市は25日、都市計画審議会を開き、蒲郡市までを結ぶ東三河都市計画道路・大塚金野線の計画変更承認を求めた。また、旧案では大塚町のJR東海道本線の北側で本線への合流地点を予定していたが、カーブ区間で交通安全上の問題があり、取り付け道路の位置を東海道本線の南側に変更。鉄道路線とはアンダー

パスで交差する。将来的な交通量の推計などを踏まえ、全区間と南端で接続する旧国道23号の一部区間の幅員も変更した。



蒲郡バイパス(左右に延びる道路)と交差する大塚金野線の完成イメージ(愛知県提供)

東愛知

2月に沖縄で「おさかな学校」

海・みなど・蒲郡実行委員会が参加募集

「海・みなど・蒲郡実行委員会」は沖縄県浦添市で来年2月に開く「おさかな学校」体験。おさかな学校、浦添市の参加者を募集している。1月5日まで。海の現状を伝え未来へつなげる日本財団の活動「海と日本プロジェクト」の一環。8月に地元以外の海に触れ、海を守る重要性の理解を深める目的で初開催した。好評

市内在住の小学4～6年生児童と保護者が対象。参加費は飛行機代と宿泊費、体験料などを含めて1組6万円。応募は専用フォーム「QRコード」か、事務局の蒲郡市企画政策課窓口にあるチラシから申し込む。

問い合わせは企画政策課(0533・66・1162)へ。【林大二朗】



東日

蒲郡市がコミュニティパーク新設へ

ボートレース場敷地内にスケートボード場など整備



バスケットボール、スケートボードを楽しむ多目的広場のイメージ(蒲郡市提供)

蒲郡市は、竹谷町のボートレース場の敷地に、市内初のスケートボード場などを備えたコミュニティパーク「Green(グリーン)」を新設する。来年度に着工し、翌2025年度の開園を目指す。今月の市議会経済委員会報告があった。

市側の説明によると、グリーンは常滑、大村(長崎県)、丸亀(香川県)の各ボートレース場に次ぐ4カ所目。市はボートレース場の南側の第6駐車場に整備する。

敷地内にスケートパークのほか、バスケットボールやフットサル用の多目的広場、ジ

ヨギンケコース、フィットネス器具などを設置。利用料は無料で、多世代の健康づくりの場として広く開放する。

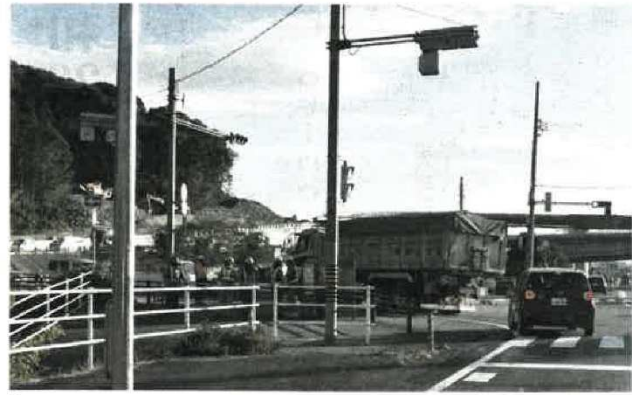
工事は12億円を見込み、一部をボートレース振興会が負担する。

また、同レース場の屋外広場ウエストガーデンに整備中の子どもが遊べるキッズパーク「Moovvi(ムーヴィー)」は、来年4月に開業する見通しとなった。入場料は300円。高さ6メートルのシンボル遊具など17の大型遊具を置く計画だ。運営は遊具メーカー「ポネルンド」に委託する。

(多田羅有美)

東日 蒲郡BP蒲郡IC、蒲郡西IC

4カ月間の通行止め解除



約4カ月間の通行止めが解除され、蒲郡BPへ入る車両(蒲郡ICで)

国道23号バイパス(BP)の2024年度全線開通に向けて、集中工事が行われていた蒲郡BPの通行止めが解除された。蒲郡インターチェンジ(IC)と蒲郡西ICの区間で28日、約4カ月間にも及ぶ通行止めが解除された。この日は、当初予定されていた午後5時よりも早い同3時に規制が解除され、蒲郡ICのある蒲郡市清田町では、オレンジロードを通過して東名高速・音羽蒲郡IC方面から来た大型車両などが次々とBPへ入っていった。

また、この蒲郡IC前から北上し、本宿や新東名高速・岡崎東ICへ接続する国道473号の通行止めも同日、解除された。6月2日の集中豪雨で岡崎市鉢地町内での土砂崩れで道路が崩壊し、半年以上にわたって規制が続いていた。(由本裕貴)

東日

「海・みなど・蒲郡実行委員会」は来年2月2～4日の2泊3日で行う「ごきごき体験おさかな学校 浦添ノ巻」の参加者を募っている。行き先は沖縄県浦添市。見学や体験講座などを通じて、海について学ぶ。日本財団の「海と日本プロジェクト」の一環。応募は1月5日まで。

2泊3日浦添市で「海」学ぶ 蒲郡市内小学4～6年生の参加者募集

習や、4日は水族館見学などを行い、午後3時15分に那覇空港をたつ。セントレアには午後5時20分に到着する予定だ。対象は蒲郡市内在住で、4年から6年生までの小学生とその保護者。定員は5組10人まで。セントレアで集合解散する。参加費は1組6万円。28日に蒲郡市海陽町のラグナシアで事前学習がある。問い合わせは、事務局(市企画政策課) 電話0533(66)16211へ。

東日

豊橋市ワースト1位

愛知県人口動向調査 市町村別増減数で

愛知県は、昨年10月1日から今年9月30日までの人口動向の調査結果をまとめ、「あいちの人口(年報)」として公表した。市町村別の増減数で豊橋市がワースト1位だった。県内人口は10月1日時点で748万8977人となり、1年間で1万6624人減少。4年連続の減少で、尾張、西三河、内ワースト1位。増

減率では、設楽町のマイナス3.67%が県内で最も低く、東栄町、豊根村、新城市の4自治体が一スト5位内に入った。人口減少に歯止めがかからない中でも、外国人は全県的に増加。東三河では、

地域・自治体	推計人口(人)	人口増減数(人)	人口増減率(%)	日本人増減数(人)	外国人増減数(人)
東三河地域	365,346	△1,871	△0.51	△6,735	2,353
豊橋市	184,245	△1,112	△0.60		
豊川市	77,975	△676	△0.86		
蒲郡市	42,232	△648	△1.51		
新城市	57,251	△807	△1.39		
田原市	4,014	△153	△3.67		
設楽町	2,663	△90	△3.27		
東栄町	917	△26	△2.76		
豊根村	734,643	△4,382	△0.59		
尾張地域	5,145,788	△8,809	△0.17	△20,803	11,994
西三河地域	1,600,466	△3,432	△0.21	△8,214	4,782
愛知県	7,480,897	△16,624	△0.22	△35,752	19,128

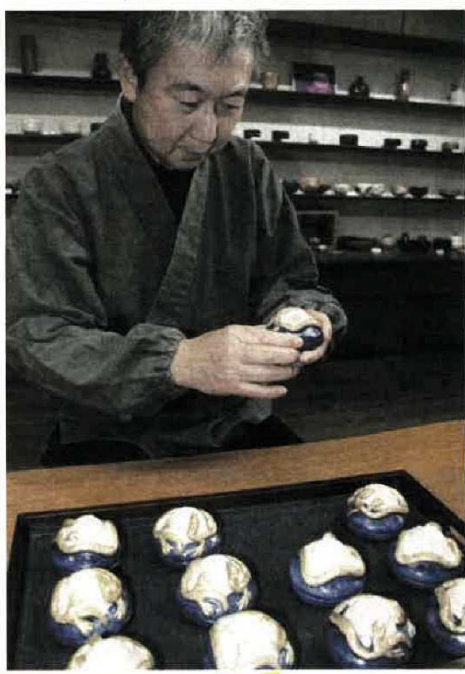
10月1日時点の推計人口と増減数

東日

富士から勢いよく天へ昇れ

蒲郡の安加比古窯 辰にちなんだ香合完成

蒲郡市神ノ郷町にある築焼の窯元・安加比古(あかひこ)窯で、陶芸家の加藤隆生さん(58)が、来年の干支(えと)「辰(たつ)」にちなんだ香合を完成させた。富士山から勢いよく天へ昇って行く龍をモチーフにした。「すっきりとした世の中で、自分も含め、励ましたい気



金色の龍をあしらった

「コロナ禍が収束に向かう中、世界では争いが絶えない。龍のように力強く、運気が上昇するよう願っている」と加藤さん。香合は富士山を中心に、駆け上る

雪を頂いた富士山は、瑠璃色と呼ばれる紫みを帯びた濃い青色の釉薬(ゆうや)で仕上げた。黎明、つまり夜明けの色をイメージし、明るい兆しを表現している。大きさは直径7センチ、高さ6センチ。香合は、茶席で使われる練り香の容器で、置物としても人気がある。安加比古窯では初代から干支の香合作りを続けており、3代目の隆生さんが受け継いで辰は2巡目

新年に向けて100個を焼き上げた。価格は税込みで1個1万3200円。注文、問い合わせは、安加比古窯 電話0533(68)675711へ。(多田羅有美)

東日

形原クラブが優勝

第31回朝日新聞社旗争奪全三河ジュニアソフトボール大会



形原クラブが優勝を決めた



準優勝の大坪ジュニア

第31回朝日新聞社旗争奪全三河ジュニアソフトボール大会は、豊橋市臨海広場で決勝が行われ、形原クラブが2-0で大坪ジュニアに競り勝ち、優勝を決めた。形原クラブは、準決勝で小川・清水つとくしんほ合同チームと対戦し、5得点を奪って決勝へと駒を進めた。大坪ジュニアとの決勝では、2点を先制。チーム一丸の堅守で相手攻撃を完封して頂点に立った。結果は次の通り。

▽準決勝
大坪ジュニア18-3玉川バスターズ
形原クラブ5-2小川・清水つとくしんほ合同

西浦温泉旅館「旬景浪漫 銀波荘」 来月16日温泉喫茶開業

大浴場改修―三河湾望む足湯など

東日
蒲郡市・西浦温泉の旅館「旬景浪漫 銀波荘」は、二つあった大浴場の一つを改修し、温泉喫茶「sinonome(シノメ)」として2024年1月16日に開業する。目の前の海岸から直接入浴でき、宿泊客以外も利用できるようにした。安藤寿子専務は「時間を忘れて非日常をゆっくり過ごしてほしい」と来店を呼びかける。



足湯に漬かって海を眺めながらティータイム(蒲郡市・銀波荘で)

面積は330平方メートル。湯には、カウンターを設置した。本棚は約50席。元の女やテーブル席と図書には四季をテーマにしたメニューはコーヒーやクリームソーダなどの飲み物とソフトクリーム、軽食としてワッフルを販売する。

店名の「シノメ」は、(東夢)は夜明けの空にたなびく雲のこと。店のインテリアにもこのイメージを反映し、黄みがかったピンク色が統一された。ほか「コワーキングスペース」として12人収容の会議室を併設。電源と、WiFi(無料)を完備している。

350冊をそろえている。半年ごとに新刊を入れる予定だ。かつての男湯は、浴槽を生かして座席を作った。三河湾を一望できるテラスには足湯があり、お茶を片手に入浴できる。

駐車場は最寄りの塩柄駐車場や銀波荘の駐車場を利用できる。営業時間は、冬季は午前10時～午後5時。夏季は延長する予定。(多田羅有美)

魚類学者でタレントのさかなクンの人生を描いた映画「さかなのこ」の上映会が1月27日午前11時から、蒲郡市海陽町のラクーナテンプル・ラグナシアで開かれる。日本財団海と日本プロジェクトの一環で、海・みなと・蒲郡実行委員会が主催。蒲郡市民200人を無料で招待する。

対象は市内在住者。定員2000人を超えた場合は抽選を行う。申し込みはQRコードから10日まで受け付けている。

応募先のQRコード



大浴場の名残があるカフェスペース(同)

東日 来月20日谷本歩実さん講演

蒲郡市民会館で 柔道女子金メダリスト

蒲郡市は2024年1月20日午後2時から、柔道女子金メダリストの谷本歩実さんを迎えた講演会「夢を叶える思考力」を市民会館で開く。入場無料。市の男女共同参画事業の一環。谷本さんには自身の競技人生や子育ての経験などを語ってもらう。自由席で定員は先着順に500人。申し込み不要。問い合わせは、市協働まちづくり課(電話0533(66)1196)まで。

東日 来月27日映画「さかなのこ」上映

魚類学者でタレントのさかなクンの人生を描いた映画「さかなのこ」の上映会が1月27日午前11時から、蒲郡市海陽町のラクーナテンプル・ラグナシアで開かれる。日本財団海と日本プロジェクトの一環で、海・みなと・蒲郡実行委員会が主催。蒲郡市民200人を無料で招待する。

対象は市内在住者。定員2000人を超えた場合は抽選を行う。申し込みはQRコードから10日まで受け付けている。



応募先のQRコード

2月11日 桜淵公園で「新城ラリー大感謝祭」



今年3月の第20回大会(新城市で)

東日
今年3月の第20回で終了した自動車競技大会「新城ラリー」を記念するイベントとして来月2月11日、新城市の桜淵公園で「新城ラリー大感謝祭」がある。主催者となる新城ラリー支援委員会の浅田利彦委員長は「ラリー三河湾が始まる。蒲郡市へエールを送る『引き継ぎ式』にしたい。大会を20年間続けてきたのは僕たちの誇りだ」と話す。大感謝祭は新城市の記念誌・支援委員会が開き、記念タオルを販売し、トヨタ自動車などが協力する。入場は無料。会場では新城市のPR動画を上映する。新城ラリーは、カーレースを通じた地域活性化を目指して2004年に始まり、3年後には全日本ラリー選手権に昇格し、沿道を含む観客動員数は多い年で約5万4000人になった。しかし、競技を主催する団体「モンテカルロオートスポーツクラブ」(長久手市)が今年6月、会場の問題を理由に市へ大会中止を通告し、大会中止を通告し、市は「大会中止のいきさつには複雑な思いがあるが、新城市で育て上げた



浅田委員長(左)と下江市長(新城市役所で)

た支援委員会の浅田委員長は「ラリーのラ字も知らなかった人間が集まり、大会をサポートしていただき、応援してもらった。だんだん応援してもらえるようになって、世界ラリー選手権(WRC)にもつなげた」と20年間を振り返った。新城市の下江洋行市長は「大会中止のいきさつには複雑な思いがあるが、新城市で育て上げた

イベントがすっかり引き継がれるよう支援していきたい」と前向きに語った。大感謝祭の最新情報や駐車場の予約方法は、市のウェブサイト「QRコード」で確認できる。(橋本謙蔵)

